

【概要版】中津川市観光推進アクションプラン（令和7年9月策定）

1. 計画の目標年次

（アクションプラン P1）

	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	
中津川市 総合計画	中期 2019年度～2022年度				後期 2023年度～2026年度			策定	前期 5か年	
中津川市 観光振興 ビジョン	2019年～2027年 ※1年前倒して見直し 【9年間】								策定	10年 計画
中津川市 観光推進 アクション プラン	前期 2019年～2021年			見直し	中期 2022年～2024年		見直し	後期 2025年 2026年		策定 前期 5か年

2. 目標値

（アクションプラン P1～2）

①本市全体の観光入込客数の目標値

※単位：万人

区分	2019年 (R1年)	2020年 (R2年)	2021年 (R3年)	2022年 (R4年)	2023年 (R5年)	2024年 (R6年)	2025年 (R7年)	2026年 (R8年)
目標	500	505	510	515	525	535	545	555
実績	486	294	267	355	402	428	—	—

②宿泊者数の目標値

※単位：万人

区分	2019年 (R1年)	2020年 (R2年)	2021年 (R3年)	2022年 (R4年)	2023年 (R5年)	2024年 (R6年)	2025年 (R7年)	2026年 (R8年)
目標	—	13.7	14.4	15.1	15.8	16.5	17.2	17.9
実績	14.6	9.7	8.8	14.1	20.2	19.9	—	—

3. 中期アクションプランの評価を踏まえた今後の推進方針

（アクションプラン P3）

- ①施策の方向性と成果が合致している現在の観光振興ビジョンを引き続き推進していきます。
- ②更なる市の魅力発信や新たなアクティビティの掘り起こし等により、選ばれる観光地としての取り組みを行います。
- ③人気となっている「妻籠馬籠ハイク」を核としたプロモーション活動や景観保全、満足度向上につながるコンテンツ・プログラムの整備を行います。
- ④滞在時間が延び、市内に滞在する観光客が増えているため、自然や歴史・文化、食といった本市ならではの魅力を体験していただき、満足度を上げ、リピーターを増やす取り組みを行います。
- ⑤R4.6に設立し、R6.3に候補DMOとなった「中津川市観光局」を核とした観光地域づくりを推進していきます。
- ⑥市は、中津川市観光局に対し、積極的な参画・連携・支援を行うとともに、ハード整備及び広域観光の推進に力を入れていきます。

4. 基本理念

(アクションプラン P5)

～ 中津川市の観光振興に関する基本理念 ～

自然、歴史・文化、食などの『地域の魅力』を活かし、市民の『おもてなしの力』をもって、地域の観光価値を高め、誘客促進を図ることで、観光産業の確立につなげる。

5. 3つの基本方針と主な施策

(アクションプラン P5～13)

1. 国内観光の推進	(1) 持続可能な取り組み	①中津川市観光局を核とした観光地域づくりの推進 ②観光局と各観光協会への支援方法の整理 ③オーバーツーリズム対策等、自然・文化・住民の暮らしを意識した課題解決のための取り組み
	(2) 資源を活用した観光誘客	①国内におけるマーケティングプロモーション ②観光需要の平準化に向けた取り組み ③中津川の歴史・文化・自然を活かした商品開発 ④なかつがわ御神木祭を契機とした市の知名度向上と市民の地域への誇りの醸成 ⑤観光大使の活用と誘客促進 ⑥体験プログラム・旅行商品の開発支援 ⑦PR 動画・パンフレット等の作成、配布
	(3) 中津川の観光ハブ拠点化	①中津川観光の玄関口である中津川駅前周辺整備の推進 ②中津川の歴史・文化が色濃く残る中山道三宿整備の推進 ③神坂スマート IC 開通を活かした観光誘客とハード整備 ④築城 500 年を契機とした苗木城跡の観光推進 ⑤観光施設の将来を見据えた計画的な維持管理の検討と観光に資する指定管理の推進
2. インバウンド観光の推進	(1) 滞在時間の延長と消費拡大	①的確なマーケティング戦略の立案・推進・検証 ②滞在期間の延伸・客単価の向上・満足度の向上に資するインバウンド向けコンテンツ・商品の整備 ③「妻籠・馬籠 Hike」「サムライロード」の認知度を活かした誘客 ④外国語対応の PR 動画・パンフレットの作成、配布
	(2) 海外への情報発信の強化	①インバウンド需要拡大のための情報発信の強化 ②市内宿泊・飲食等施設と協働し、パンフレット配布などの観光案内の実施
	(3) 受入環境の整備	①旅中における適切な観光情報の提供 ②観光人材の育成・確保 ③外国人案内機能の強化
3. 広域観光の推進 東美濃地域、下呂市、南木曾町をはじめとする木曾地域、その他自治体との連携		

6. 推進体制

(アクションプラン P14)

